

未来の自分をうらむぞ

八月九日

日曜日

未来の自分をうらむぞ

三時間ほど眠った、七時頃、目が覚めた。そのまま、腹を下にして、枕にあごをかけて、頭に開けてある問題集に手をつける。どんだん問題をやって行く。

時々、あまりにも続け様にやっているので、頭が疲れ、仰向けになって、天井を眺め、静かに目を閉じる。

彼女の姿が現れる。彼女の僕にほほえみかけるその動作、右手の肘を左手の、手のひらに乗せ、右手の、手のひらを、あごに当てて、すこし、上目（うわめ）で僕を見る。彼女が恋しく感じる。

しかし、もう僕のすべきところ迄した。もう僕は積極的に前へは出ない。

そう思い返すと、すぐ、再び、勉強し出す。どんだん、進んでいく。

しかし、涙が出てくる。

何で、僕は勉強するのか。

だれの為に、何の為に、僕は勉強するのか。